

を介した両側町の風情が生じる。地域とのつながりは、地域の自治活動という形で更に広がり、「番組小学校」を自治の核とする元学区となる。

一つの京町家、両側町、元学区というそれぞれの広がりにおいて、今日まで長年にわたり受け継がれてきた日常的な暮らしや自治活動、例に示したような行事等により住民の結束が図られる。さらに、これらの営みが継続されることによって、地域のつながりや親しみを感じさせるとともに、歴史的な町並みを守ろうとする意識が住民の中に育まれている。

(3) ハレの場と伝統を引き継ぐ歴史舞台

京都御所や二条城は、都としての歴史の中で、政治や文化の拠点であり、歴史を動かした様々な局面の舞台となった場所である。そして、そこに存在する建造物や庭は歴史的遺産として大切な国民的財産であり、それらを引き継ぎながら、今日ではハレの祭事や催し、日常(ケ)の憩いの場として市民に親しまれている。

これらの歴史的遺産が憩いの場やハレの舞台として市民の暮らしに密接に関わることは、歴史と文化が京都の人々に息づくための重要な役割を果たしている。人々は、知らず知らずのうちにその価値を学び、感性や美意識の形成に大きな影響を受けている。

また、そうした歴史的遺産を保全・継承する技がこれらの場で受け継がれることで、京都の伝統技能の継承と発展に寄与しており、それらの技の発展が歴史遺産の保全・継承を担うという相互関係を形成しているのである。



図2-32 京都御苑・二条城 位置図

この項では、これらの歴史舞台の今と昔を示し、そこに形成される歴史的風致を示していく。